

キトラ古墳出土銀装大刀復元品



武器・武具いくさ

比羅夫がゆく 飛鳥時代の

奈良文化財研究所創立60周年記念
平成24年度飛鳥資料館春期特別展

平成24年4月14日(土)から6月3日(日)

■開館時間・午前9時から午後4時30分・入館は4時まで・会期中無休
記念講演会・5月12日(土)講堂にて13時30分開演
「飛鳥の武器生産と東北」文化庁文化財部美術学芸課文化財調査官 豊島直博氏
ギャラリートーク

4月15日(日)13時・5月12日(土)11時・5月19日(土)13時
主催・奈良文化財研究所飛鳥資料館
後援・読売新聞社

入館料・一般260円(170円)大学生130円(60円)高校生及び18歳未満は無料()内は20名以上の団体
交通・近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から かめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車
または近鉄・JR桜井駅から石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

奈良文化財研究所 飛鳥資料館



奈良文化財研究所創立60周年記念

平成24年度飛鳥資料館春期特別展

比羅夫がゆく——飛鳥時代の

武器・武具のいきさ

飛鳥に都が置かれた7世紀は、中国的な中央集権国家樹立をめぐる動乱の時代でもありました。百済復興をめぐる唐・新羅との戦い、版図拡大の過程での蝦夷や肅慎ら北方集団との紛争、さらには古代史上最大の内乱である壬申の乱など、さまざまないきさがおこなわれました。

そうした、この時代、朝鮮半島や北方でのいくさに一人の将軍が関わったことが日本書紀に記録されています。阿倍引田臣比羅夫です。今回の特別展では、近年、資料の蓄積が進む出土武器・武具を展示するとともに、比羅夫がみたであろう北方地域の武器との比較や、唐より新しく伝わった武器の受容のあり方を通して、飛鳥時代の武器と武具、そして戦いの特徴を考察します。

主な展示品

- 飛鳥寺塔心礎出土掛甲（奈良文化財研究所）
- キトラ古墳石室出土大刀片、刀装具（奈良文化財研究所） *写真1
- 高松塚古墳出土刀装具（重要文化財 奈良文化財研究所）
- 岩内一号墳出土銀線蛭巻大刀（御坊市教育委員会） *写真2
- 武蔵府中熊野神社古墳出土鉄地銀象嵌鞘尻金具（府中市教育委員会）
- 稲古館古墳出土銅装大刀（須賀川市教育委員会）
- 西島松5遺跡出土品
- （北海道埋蔵文化財センター・恵庭市教育委員会） *写真3



1



2



3

■ 展示期間

平成24年4月14日(土) から6月3日(日)
期間中無休

■ 時間

午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

■ 料金

一般260円（170円）大学生130円（60円）
高校生および18歳未満は無料
※（ ）は20名以上の団体

● 春期特別展記念講演会

「飛鳥の武器生産と東北」

日時：5月12日(土) 13時30分開演

会場：飛鳥資料館講堂

講師：文化庁文化財調査官 豊島直博氏

※事前申し込み不要

● ギャラリートーク

研究員が展示の見どころを解説します

第一回…4月15日(日) 13時～14時

第二回…5月12日(土) 11時～12時

第三回…5月19日(土) 13時～14時



奈良文化財研究所

飛鳥資料館

奈良県高市郡明日香村奥山601
電話0744-54-3561
<http://www.nabunken.jp/asuka/>